

2014年12月31日

モロッコ人専門家を招聘

スーダン国水供給人材育成プロジェクト・フェーズ2では、モロッコとスーダンの水分野における連携強化のために、毎年12月にモロッコ人専門家をスーダンに招聘しています。これに伴い、2014年も12月13日から17日にかけてモロッコ人専門家が招聘されました。

今回のモロッコ人専門家は水電力供給公社(ONEE)の国際水衛生局長と国水・エネルギー・環境省 Bouregreg Chaouia 流域水利局長の2名を招聘しました。水電力供給公社(ONEE)、国際水衛生局の Mr. Samir Bensaid は2012年よりモロッコとスーダンの連携に積極的であり、また、研修センターの責任者として毎年、多くのスーダン人研修生を受け入れてきました。水・エネルギー・環境省 Bouregreg Chaouia 流域水利局の Mr. Zerouali Abdelaziz は、長年日本がモロッコで実施してきた無償資金協力による地方給水計画に従事し、水資源開発と地方給水の専門家です。

今回のモロッコ人専門家の招聘の目的は、プロジェクト終了後に、JICA に依存しない形で長期的なモロッコとスーダンの連携を協議することです。そのために、両専門家は現地視察の後、スーダン側の水資源電力省、人材育成省、飲料水・衛生局 (Drinking Water and Sanitation Unit: DWSU) と各種協議を行いました。

		
ナイル川調査(12/14)	キロテンワークショップ視察 (12/15)	JabelAulia 浄水場視察(12/16)